

国土交通省は10月9日付で、令和2年度（2020年度）建設マスターとして建設技能者455名を国土交通大臣が顕彰し、建設ジュニアマスターとして青年技能者109名を不動産・建設経済局長が顕彰しました。その内、当会の平野正樹会長が推薦した6名は全員が受賞しました。以下のとおり。なお、新型コロナウイルスの影響下、顕彰式開催は中止しました。

【建設マスター受賞者】

氏名、住所、職種、勤務先の順。敬称略。

①阿部 郁夫（アベ・イクオ）、東京都大田区、機械器具設置工、(株)シンワ②猪山 潤（イノヤマ・ジュン）、東京都世田谷区、機械器具設置工、マルマテクニカ（株）③小長井 俊秀（コナガイ・トシヒデ）、静岡市清水区、機械器具設置工、(株)第一テクノ④松原 亮也（マツバラ・リョウヤ）、兵庫県姫路市、(株)第一テクノ

優秀施工者（建設マスター）国土交通大臣顕彰の名称で継続しています。一方、建設マスターに達するまでの技能の向上のインセンティブを与える狙いで、優秀な技能・技術を持ち、今後さらなる活躍が

【建設ジュニアマスター受賞者】

氏名、住所、職種、勤務先の順。敬称略。

⑤野間 美洋（ノマ・ミヒロ）、東京都大田区、機械器具設置工、(株)シンワ⑥田口 優（タグチ・マサル）、兵庫県尼崎市、機械器具設置工、ヤンマーエネルギーシステム（株）

国土交通省は、常に建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事している建設技能者の中から、特に優秀な技能・技術を持ち、技術開発や工事施工の合理化、後進の指導・育成の面で建設産業に対し多大な貢献をしている方を国土交通大臣が顕彰しています。ものづくりに携わっている方の誇りと意欲を増進させると共に、建設技能者の社会的評価の向上を図る狙いで、平成4年度（1992年度）から毎年、優秀施工者（建設マスター）建設大臣顕彰の名称で実施しています。平成13年度（2001年度）からは、

期待される青年技能者の方を不動産・建設経済局長が顕彰しています。平成27年度（2015年度）から毎年、青年優秀施工者（建設ジュニアマスター）不動産・建設経済局長顕彰の名称で実施しています。

内発協ニュース／2020年12月号